

テーマ  
緊急事態の日本

## コロナ禍のメンタルヘルス支援を振り返る

HIV 感染症の長期療養には、医療継続を目標に治療とメンタルヘルス支援が求められています。新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響を受け、病院での面談時間の短縮や派遣カウンセラーの活動制限も余儀なくされました。今回、この緊急事態の中で実践されたHIV感染者へのメンタルヘルス支援を振り返り、HIV ケア体制を再考するシンポジウムを企画しました。ぜひご参加ください。

### プログラム

- 進行 渡部 恵子 (北海道大学病院 HIV コーディネーターナース)  
小松 賢亮 (国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院  
エイズ治療・研究開発センター 心理療法士)
- 18:00-18:05 開会挨拶 横幕 能行 (医療体制班研究代表者・NHO 名古屋医療センター)
- 18:05-18:20 コロナ禍のメンタルヘルス支援～看護師の立場から～  
戸蒔 祐子 (東京都中核拠点病院 慶應義塾大学病院 HIV コーディネーターナース)
- 18:20-18:35 コロナ禍のメンタルヘルス支援～派遣カウンセラーの立場から～  
神谷 昌枝 (東京都福祉保健局感染症対策部 防疫・情報管理課/エイズ専門相談員)
- 18:35-18:55 総合討論
- 18:55-19:05 事前質問回答
- 19:05-19:10 閉会挨拶 池田 和子 (国立国際医療研究センター病院  
エイズ治療・研究開発センター 看護支援調整職)

開催日時 2022年2月2日(水) 18:00～19:10

方法 Zoomによるオンライン

対象者 全国エイズ治療拠点病院の看護師、カウンセラー等

申込方法 • HP( <http://www.acc.ncgm.go.jp> )

• QRコードから

\* 個人情報は運営管理の目的以外に使用しません



申込締切 2022年1月26日(水) 正午

問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院  
エイズ治療・研究開発センター ケア支援室  
小松・池田 TEL:03-5273-5430 (平日 9:00-17:00)

主催：  
厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業  
HIV 感染症の医療体制整備に関する研究

研究代表者：横幕能行 (NHO 名古屋医療センター)

研究分担者：池田和子 (国立国際医療研究センター病院) 「ブロック内中核拠点病院間における相互交流による HIV 診療環境の相互評価と MSW と協働による要介護・要支援者に対する療養支援のネットワーク構築」